

牧師室から (2022.3.13)

めぐ(犬)と散歩をしていると、あちこちに咲いている梅の花が目につく。桜の花もきれいだ、私は梅の花がもっと好きである。2月の寒さに耐えながら、春の到来を知らせている梅の花の姿は、花言葉のように気品があり、高潔で、忍耐の心を伝えているかのよう。

大阪にいた時は、この頃になると、大阪城を囲んでいる広い敷地の一角にある梅林に行くのが大きな楽しみであった。様々な形と色の梅の花が木の枝の線と調和して、とても素敵で趣を感じさせる景色になる。さらに仄かな香りまで加わり、その梅林の中に行くと、癒されるような気持ちになって、時間の流れを忘れてしまう。

聖書には梅の花については記されていないが、似ている花で、聖書に書かれているのが「アーモンド」である。(出エジプト 25:33、コヘレト 12:5、エレミヤ 1:11)

友人から送られたイスラエルのカレンダーの2月のところにアーモンドの花の写真があり、その下にこのような文が書かれていた。「アーモンドの木はおいしい実と美しい花で有名です。つぼみは、間もなく到来する春の前触れです。つららがエルサレムの城壁にまだ残る2月の寒い時期に、アーモンドの木は眠りから覚めます。突然、何百万ものピンクのつぼみがほころび始め、公園や通りに春の訪れを告げます。」

アーモンドの花自体は桜や桃の花によく似ているが、寒さの中で顔を出して、春が近づいていることを知らせることやその実を美味しく食べられるところから、梅の花にもっと似ているように思われた。イスラエルの人々は寒さの中で、アーモンドの花を楽しみ、その後はアーモンドの実を美味しく食べる。梅の実も日本にいる私たちには美味しい食材になる。

神様は自然を通して、私たちに語り、また、豊かさを与えてくださる。世界の人々に多様な形で、神様の変わらない愛と恵みを注いでくださることを改めて思う。

*梅、桜、桃、アーモンド、これらの花は、すべてバラ科に分類されている。

(鈴木善姫牧師)